



発行所：諏訪実業高等学校同窓会
発行編集者：広 報 部
印刷：株式会社印刷

平成25年度 定期総会開催

平成25年度同窓会定期総会が5月18日(土)にラコ華乃井ホテルで開催された。

大久保会長は挨拶で最初に、長年同窓会のために尽力された北澤忠義先生が3月2日に86歳で亡くなられたことを述べ、哀悼の意を表わした。また今年は同窓会東京支部が設立60周年になり5月25日に記念総会が行われること、東海支部総会が9月14日に行われることを述べ、大勢の参加を呼びかけた。在校生については、昨年に続いて野球部をはじめ各部の活躍への期待を述べた。倉田校長は県全体でいじめと体罰の根絶を目ざしていることに触れ、本校でも全校集会を通して防止に努めたいと述べた。また同時に諏訪実生として好ましい身だしなみ、言葉づかいを身につけさせたいと話した。商業科全生徒による販

平成25年度 同窓会一般会計予算			
収 入	予 算 額	前年度決算額	摘 要
前期繰越	602,753	879,532	平成24年度より
入 会 金	1,020,000	1,050,000	204名×@5000 (全定合計)
会 費	1,020,000	1,050,000	204名×@5000 (全定合計)
名簿売上	0	5,000	
受取利息	300	298	
雑 収 入	0	0	
合 計	2,643,053	2,984,830	
支 出	予 算 額	前年度決算額	摘 要
会 議 費	260,000	264,227	総会・役員会
通 信 費	130,000	128,830	はがき・切手
事 務 費	150,000	148,149	新聞広告代など
旅 費	230,000	131,312	東京・東海支部総会出席
記念品代	120,000	116,835	卒業証書ホルダ
慶 弔 費	60,000	52,064	転退職職員饗別
渉 外 費	70,000	70,000	歓迎会等補助
支部運営費	170,000	165,510	各支部総会・同年会等補助
文化事業費	320,000	300,000	研修旅行等補助
広報事業費	200,000	254,250	同窓会報印刷代・保守代等
校友会補助費	50,000	50,000	
定時制振興費	70,000	70,000	
雑 費	20,000	20,000	事務室へ
行事基金繰入	500,000	500,000	特別会計(行事基金)へ
部活動補助金	120,000	110,900	
予 備 費	173,053	0	
合 計	2,643,053	2,382,077	

祝 東京支部創立六十周年



同窓会々長 大久保 一

「ただちに命を守る行動をとって下さい」「特別警報」「今年には、これまでに聞いたことのない言葉をたびたび耳にしました。諏訪湖の花火大会も昭和24年の開催以来初めて「今までに経験をしたことのない雷雨」のため中止となりました。」

平成25年度役員

- 会 長 大久保 一 (43年卒)
- 副会長 林 清次 (31年卒 文化部)
- 河 西 克朗 (32年卒 広報部)
- 宮 下 孝正 (34年卒 渉外部)
- 伊 藤 勝郎 (34年卒 渉外部)
- 藤 澤 輝雄 (36年卒 文化部)
- 武 井 範好 (36年卒 渉外部)
- 村田美香子 (37年卒 文化部)
- 伊 藤 久典 (43年卒 広報部)
- 花 岡 廣子 (43年卒 文化部)
- 新妻比佐志 (53年卒 渉外部)
- 増 澤 義治 (57年卒 渉外部)
- 監 事 岩 波 政雄 (41年卒)
- 三 井 安雄 (47年卒)
- 事務局 阿 部 金光 (49年卒 学校)
- 清水 亜季 (学校)

感動を与える背中



学校長 倉田 吉 春

今年、人々に感動を与えた人の中に、楽天の星野監督と東京オリンピック誘致の佐藤真海さんがある。東北の人々はもちろんのこと、野球を知らない人、スポーツを知らない人にも感動と勇気を与えたことだろう。

今年度、本校の同窓会も総会から東京支部・東海支部・下諏訪支部と盛大に執り行われ、挨拶や懇談の中にご苦労されたことの重みと母校を想う感動を頂

家の道を志してから現在に至った体験などを語って頂き、大変興味深く拝聴いたしました。最後にありがとうございました。武藤支部長をはじめ昨年より準備を始め、ご苦労をされた役員の皆様には敬意を表しご挨拶と致します。

進路状況報告

進路指導主事 福澤 憲一

最近、人口減少社会、少子化、高齢化社会、過疎化、独居老人等の言葉を聞くたびに、漠然とした不安を感じることを禁じ得ません。自分もそろそろ高齢者の入口に立っているからかもしれない。そんな事を考えながら進路指導をしていると、希望や期待感で満たされる時がある。

卒業生の活躍は、今年度もブランドとしての「諏実」を形成し、色々な場面に生きています。就職困難期の今年度も、一〇月までに九十%を超える生徒が内定を頂き、野球部も二〇年ぶりの選抜県大会出場を果たしました。

伝統の商業科販売実習の復活と服飾科の学習成果発表会が残されています。一年間の学習の成果を表現する場です。地元の子どもたちにとって専門高校を知る良い機会と考えます。「おもてなし」の言葉と心を子供たちに届けてほしいと思います。星野監督は、更に「勇気を奮い立たせて、毎日戦っていく。弱みは絶対見せちゃいかん。選手はいつも背中を見てくださいから、丸まった背中になったら駄目なんです。」とも言っています。専門高校の生徒として活躍する背中を諏訪の子供達に堂々と見せたいものです。

喜びの受章

関 寛雄さん(昭和30年卒 諏訪市)
牛山 英一さん(昭和35年卒 岡谷市)

秋の叙勲で、関寛雄さん(79)が統計調査の功労で瑞宝単光章を、牛山英一さん(72)が倉庫業振興の功労で旭日双光章を受章されました。

関さんは1975年の国勢調査を振り出しに、各種統計調査員として35年間従事してきた。菓子用の生あん製造業の傍ら、空いた時間を利用して調査票の記入依頼と回収に諏訪市内全域を回った。「期日は必ず守る」がモットー。「几帳面な性格が地道な作業に生きた」と振り返る。最多の30回を数える工業統計調査は、年末の稼業の繁忙期と重なり、苦労が増した。納品用の製造を早朝までに済ませ、日中に雪道を進みながら1軒ずつ事業所を訪ね歩いた。夜を徹して整理作業を続けることもあった。これまでも統計調査に功績があったとして、国から3回、県から1回表彰された。今回の受章について、「お世話になり、協力してもらった皆様に礼を言いたい」と、心から感謝の意を表された。

平成25年度3年生進路希望状況 (平成25年11月1日現在)									
課 程	男	女	大 学	短 大	専 門	就 職	その他	合 計	
全日制	男	4	1	18	18	7	48		
	女	5	11	51	63	10	140		
	合 計	9	12	69	81	15	188		
定時制	男	2	1	2	6	2	13		
	女	0	0	1	4	0	5		
	合 計	2	1	3	10	2	18		
全定合計	男	6	2	20	24	9	61		
	女	5	11	52	67	10	145		
	合 計	11	13	72	92	19	206		

やってくる。地域を支え、地域を作る。生徒の将来を思うと同時に、自分の責任の重さを実感している。

社長を務める諏訪倉庫に入社。繭、葉タバコ、精密機械、食品や飲料水へと取扱商品が変わる中、県内施設の拡充、関東圏への進出といった重要案件を成功に導いた。12年には県倉庫協会の会長に就任。災害に強い物流の構築に取り組んでいる。茅野市湖東出身。高校卒業後に入社し、総務、庶務、経理畑を歩んだ。経営陣に加わった後に取り組んだ松本支店開設、前橋支店開設はその後の会社の収益向上に大きく貢献している。県倉庫協会では14年間、理事兼事務局長として実務を取り仕切った。現在取り組む災害に強い物流の構築は、東日本大震災の教訓として緊急支援物資の受け入れ施設の不足などを指摘。災害発生から72時間を重要とし、対応策の検討を重ねている。受章について「大変な名誉。多くの皆様から支えられたおかげであり、心から感謝したい」と喜びを語った。また、高校時代の思い出として三年間図書委員を務めたことと文化祭で良寛の劇をやったことが印象に残っていると話された。